

9月21日(火) 第2回地域ケア連絡会 (場所: 稲羽コミュニティセンター)

## 『認知症高齢者の自動車運転を考える家族介護者のための支援』



各務原警察署 交通課  
交通総務 梅田 係長



香川医院 (小佐野町)  
香川 泰生 先生



丹羽医院 (前渡西町)  
丹羽 彦夫 先生



いなばファミリークリニック  
(上中屋町) 門崎 徹 先生

民生委員さんなど地域の皆さまに、このテーマで事前アンケートをお願いしましたところ、いろいろと心配な事例があることがわかりました。また、“この機会に警察の方と医師の先生方にお聞きしたいこと”をアンケート結果からまとめて、前もって、各務原警察署の方と、稲羽地区のかかりつけ医の先生方にお渡ししていました。

各務原警察署交通課梅田係長より、高齢者の運転免許の更新手続きなどについて、「講習予備検査」「高齢者講習」や臨時適正検査など具体的な事例を交え、くわしくお話頂きました。香川医院香川先生は「認知症の判断基準」を専門的にお話され、また、多くの地域の皆さまが興味を持たれた「認知症の人の自動車の運転についての医師の判断」を、日本とアメリカのいくつかの学会の指針やガイドラインなどをふまえながら、現状をわかりやすくお話して下さいました。丹羽医院丹羽先生といなばファミリークリニック門崎先生は、認知症の自覚がなく自動車を運転している人を、周りの人が気づいたときの対処や、受診に結びつけるアイデアなどをお話して下さいました。これらすべてのお話について、参加された方々より、「本当に勉強になりました」「知りたいことだけど、はっきりとした答えが出ないような難しい疑問にも、できるだけ明確にお答えいただき、すごくありがたいと思いました」との声がありました。講師としてお話して下さいました皆さま方、本当にありがとうございました。

国立長寿医療センター監修のマニュアルについては、ほんの少ししか読みこむことができませんでした。もちろん、現実にはマニュアル通りには行かないかもしれませんが、考え方の参考になると思います。読んでみてください。このテーマは、これからさらに重要になってくると思われます。

認知症になっても、安全・安心に暮らせるだけでなく、楽しみや生きがいを持って暮らして行けるように、みんなで考えていけたら良いなあと思います。